

QRコード
から
プログラムが
見れます



東京医科大学 八王子医療センター

救急科 専門研修プログラム説明会

東京医科大学
八王子医療センター

<見学随時受付中>



施設紹介

- 三次救急医療施設（救命救急センター）、災害拠点病院、東京DMAT指定病院、他
- 指導者： 救急科指導医3名、救急科専門医9名
- その他の専門診療科医師
集中治療医専門医4名、脳神経外科専門医1名、
脳神経血管内治療指導医1名、脳卒中指導医1名、
麻酔科指導医1名、外傷専門医1名
- 救急車搬送件数（三次受け入れ件数）
約1,500件/年



在籍の専攻医



- ◆ **2022年度 卒後5年次 3名**（男性2名、女性1名）
出身大学：岩手医科大学/東京女子医科大学/三重大学
- ◆ **2023年度 卒後4年次 6名**（男性4名、女性2名）
出身大学：東京医科大学/埼玉医科大学/東邦大学/
大阪市立大学/高知大学
- ◆ **2024年度 卒後3年次 2名**（男性2名）
出身大学：順天堂大学/奈良県立医科大学
- ◆ **2025年度 採用4名**（女性3名、男性1名）※内1名はダブルボード
出身大学：東京医科大学/福島県立医科大学/東邦大学/
高知大学

専門研修プログラム・カリキュラムの特徴

- < 1 > 3次・2次・1次 救急症例
すべてに対応する救命救急センター
- < 2 > Acute care specialists の養成
- < 3 > 主体的な集中治療と一貫した入院管理
- < 4 > 多様性あるキャリアパスと明確な将来展望

カリキュラム
の特徴



<1> 3次・2次・1次 救急症例すべてに対応する救命救急センター

カリキュラム 特徴<1>

東京・多摩エリアを代表する救命救急センター

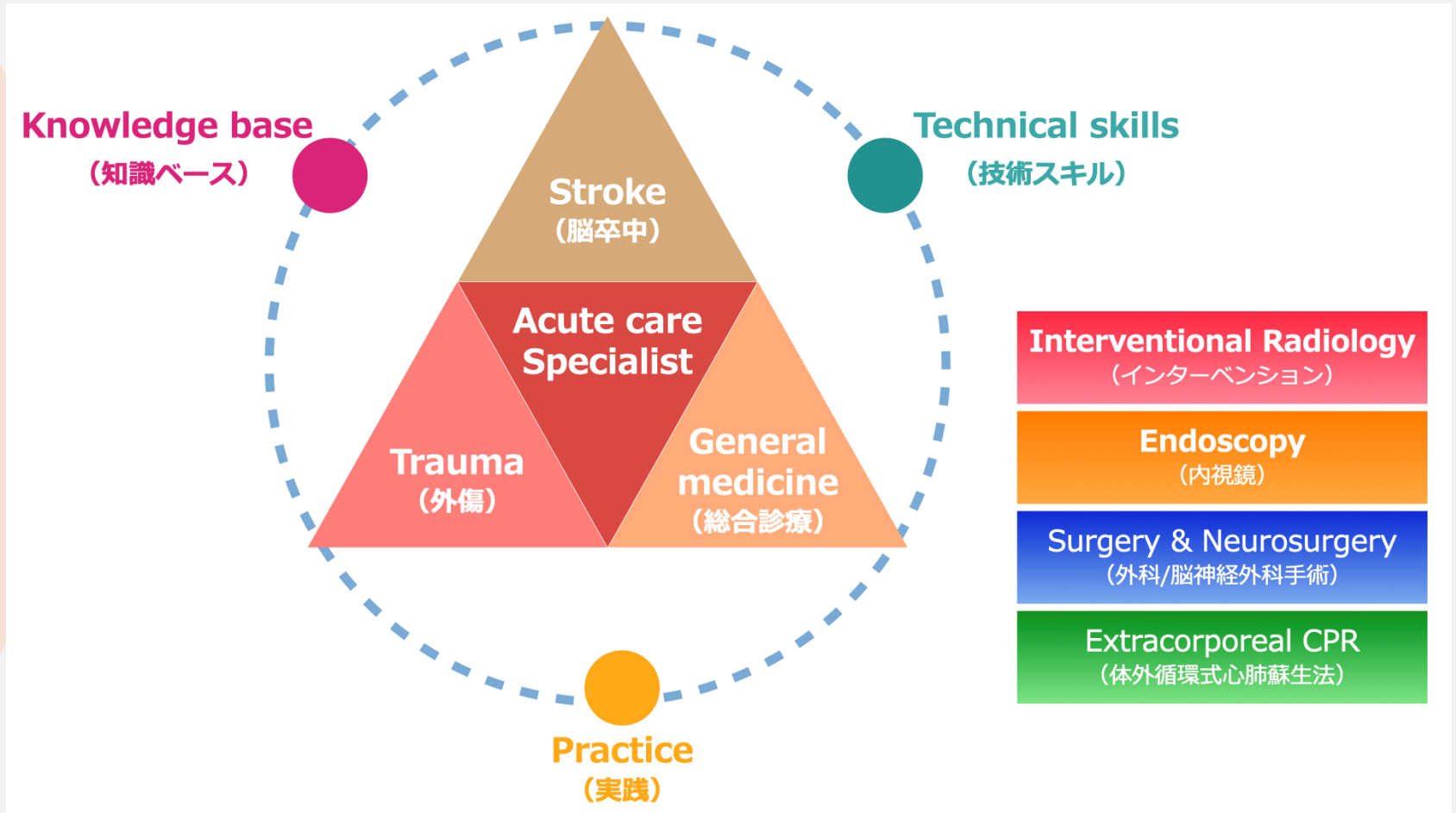
(人口約430万人)



- ◆ 大都市と地域が融合した **幅広い症例**
- ◆ 神奈川・山梨の 救急車・ドクターヘリも受け入れ **症例は非常に豊富**
- ◆ “ **断らない3次救急** ” を実践
- ◆ 「**大学病院**」と「**市中病院**」のニーズに対応

< 2 > Acute care specialists の養成

カリキュラム 特徴< 2 >



特に、外傷系・脳神経系・消化器系に注力し、高い専門性を持って臨床を実践

< 3 > 主体的な集中治療と一貫した入院管理

Emergency medicine
(救急治療)

1～3次の救急初期診療
重篤な急性機能不全患者の集中治療（24時間体制）
救急医や他科専門医・看護師間での密接な連携

Intensive care
(集中治療)

Post-ICU care
(集中治療後)



入院から退院に至るまでの一貫した診療管理体制

カリキュラム
特徴< 3 >

< 4 > 多様なキャリアパスと明確な将来展望

① 臨床現場での学習

- 1) 救急診療や手術での実地修練 (on-the-job training)
- 2) 診療科におけるカンファレンスおよび関連診療科との合同カンファレンス
- 3) 抄読会・勉強会への参加
- 4) 臨床現場でのシミュレーションシステムを利用した、知識・技能の習得

カリキュラム
特徴< 4 >

< 4 > 多様性あるキャリアパスと明確な将来展望

② 臨床現場を離れた学習

- 救急医学に関連する学術集会、セミナー、講演会およびJATEC、JPTEC、ICLS（AHA/ACLS を含む）コース



- ICLS（AHA/ACLS を含む）コースを優先的に履修。
インストラクターコースにも参加、指導法を習得。

- 法制・倫理・安全に関する共通講習に各1回以上参加

カリキュラム
特徴< 4 >

< 4 > 多様性あるキャリアパスと明確な将来展望

③ 自己学習

日本救急医学会やその関連学会が準備する「救急診療指針」、e-Learningなどを活用した学習を病院内や自宅で利用できる機会を提供

カリキュラム
特徴< 4 >



< 4 > 多様性あるキャリアパスと明確な将来展望

災害派遣医療チーム（DMAT）を中心とした災害医療や、
消防防災ヘリの受入れ・ドクターヘリ事業への参加など
航空医療にも注力しています。

カリキュラム
特徴< 4 >



令和6年1月1日に発生した
能登半島地震の被災地支援のため、
当センターから医師1名、看護師1名、
業務調整員2名(検査部、救命士)で構成
された災害派遣医療チーム（DMAT）を
派遣しました。

ドクターヘリ



待機中
です！



自然豊かな
ヘリポート

東京DMAT 出場

出動します！



忘れ物～！

< 4 > 多様なキャリアパスと明確な将来展望

- ◆ ダブル・ボード（またはダブル・スペシャリティ）も推奨
- ◆ 他科の基本領域への移籍も、責任をもって協力
- ◆ 博士号取得も支援

カリキュラム
特徴< 4 >





メリハリもあって
和やかな
救急救命センター



週間 スケジュール



週間スケジュール（例）

月	火	水	木	金	土	日
日勤 8'-17'		明け -9'	日勤 8'30-17'	研究日	日勤 9'-13'	休み
	夜勤17'-		外勤 19'-7'			

※土曜は奇数週のみ午前または午後に4時間勤務、偶数週は休日扱い

- ・当直例 5日/月(平日3、休日2)
- ・外勤例 6日/月(平日4、休日2)
- ・月収 80-120万円
- ・夏休み 5日/年
- ・有給休暇適宜、代休制度あり

- ◆ on off がハッキリ！
- ◆ 業務を効率よく行うため、
約15名の専従医で2交代制勤務
(入りと明けの確保)

1日のスケジュール



1日の勤務の流れ

日勤



8:30	朝カンファ(月曜は8:00)
午前	病棟業務 適宜救外対応
12:00	重症病棟回診
午後	病棟業務 適宜救外対応
17:00	夜勤に申し送り

夜勤



16:00	出勤
夜間	救外(ER型)、病棟急変対応
8:30	朝カンファ
9:00	日勤に申し送り

基本モジュール

モジュール1 (12ヶ月)

- ・八王子医療センター救急科
- ・救急外来／集中治療
- ・ミニマムスキル
- ・モチベーション

01

モジュール3 (12ヶ月)

- ・八王子医療センター救急科
- ・救急外来／集中治療
- ・リーダーシップ
- ・コミュニケーション

03

モジュール2 (3ヶ月≤)

- ・連携病院
- ・スキルアップ
- ・モチベーション
- ・コミュニケーション

02

モジュール4 (36ヶ月～)

- ・チームビルディング
- ・アウトプット

04

他科診療では、希望領域に応じて外科・整形外科・脳外科・麻酔科・循環器内科・小児科・放射線科・眼科・耳鼻科・皮膚科などを3～6か月ラウンドすることが可能です。

エコーや内視鏡やIVR、心臓カテーテル、ドクターヘリなどを重点的に取り組む期間も設定可能です。

～ ローターションの例 ～

救急科専攻医プログラム

←					→				
1年目		2年目		3年目		4年目			
八王子医療センター 救命科		循環器 2ヶ月	救命科		都立小児 6ヶ月	八王子医療センター 救命科			
エコー研修		内視鏡研修				救急科専門医取得 予定			

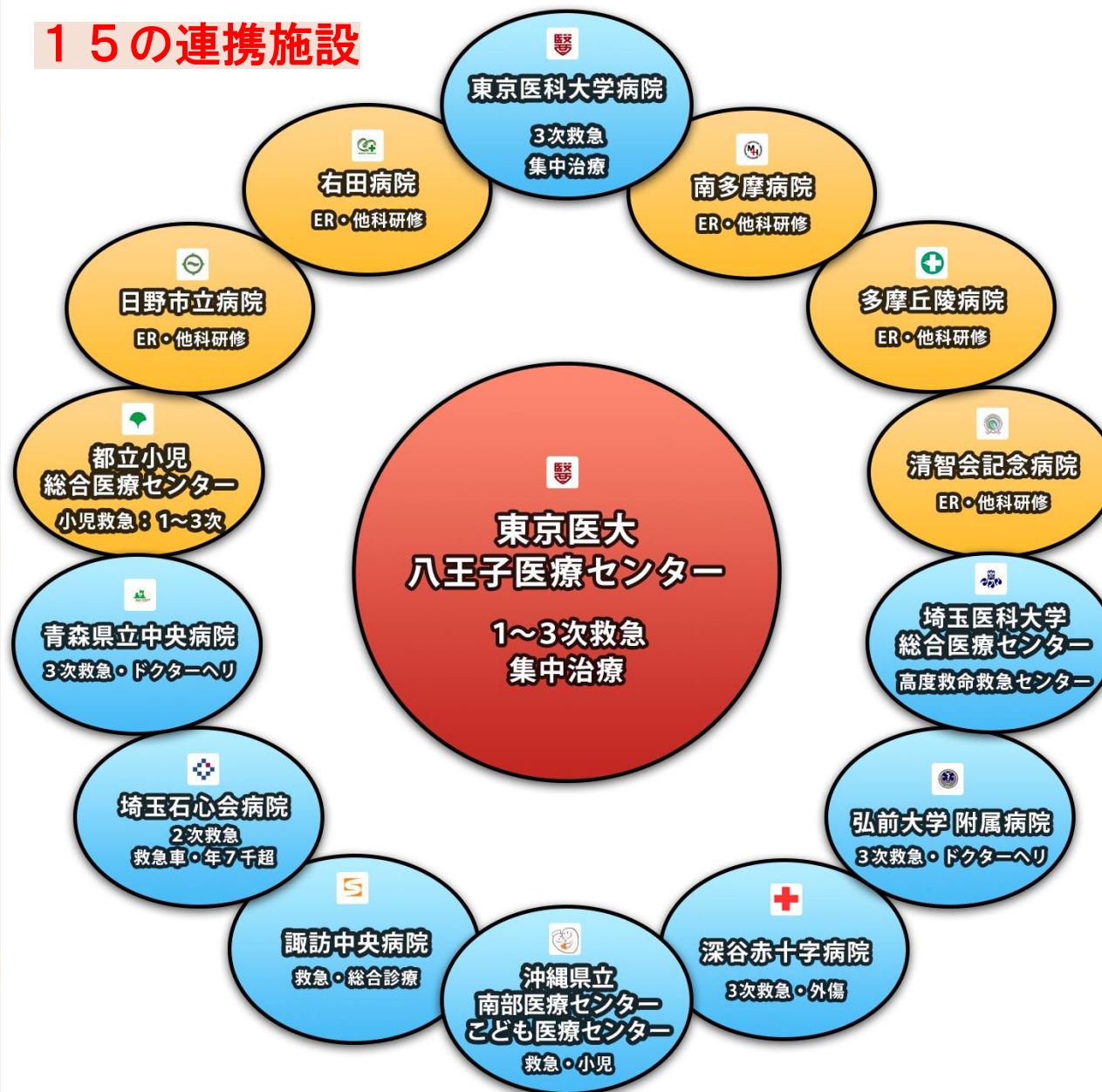
基本モジュール

15の連携施設

関連病院が多く、近隣以外の病院でも研修できる機会があります。各連携施設にて、小児救急、総合診療、地域医療、他科診療などに従事します。

基本モジュール

15の連携施設



◆ 沖縄県立南部地域医療センター・こども医療センター

「救命センターでありつつも、こども病院という側面が強く、また近隣にも夜間対応できる小児科の病院もないことから、連日たくさんのこどもの診療に当たっています。救急外来には毎日100人を越える患者さんが訪れ、研修医と一緒に診察しています。」



連携施設で 研修中の 専攻医の様子



◆ 青森県立中央病院

「本州最北の青森市に位置する救命救急センターです。野生動物による外傷など、土地ならではの症例を経験させていただいています。また、ドクターヘリ基地病院でもあり、OJTとしてドクターヘリに搭乗させていただき、フライトドクターとしての修練もさせていただいています。」



専攻医の声



(専攻医3年目)

集中治療専門施設も併設した充実の研修環境、
クリティカルケアの**全身管理が可能**であり、
脳外専門医でもある救急救命センター長の指導の
もと**外科手技の研修**ができることが
決め手となりました。
さまざまな**外傷の救急疾患**に対応でき、
やりがいを感じています。





専攻医の声

(先輩専門医)

患者さんの対応も含め、**責任をもって任せてもらえる機会が多く、指導もしていただけるので、**
ハ王子医療センターは、一人前になるのが早い！
と思います！





専攻医の声



(専攻医3年目)

若手の先生方を中心に外来と病棟、ICU管理も教え合いながらやる。**皆で一丸**となり、患者さん一人一人を見ていこうという気風があり、上級の先生方も**教育熱心**です。

いろいろな救命センターを見てきましたが、とても**いい雰囲気**だと思います。



専攻医の声

(専攻医2年目)

八王子医療センターには、脳外、整形外科、集中治療のエキスパート等々、**救急医のロールモデル**となる**先生方**がたくさんいるので、どういう救急医になるかを考えながら研修することが可能です。そこから描いた自分のビジョンを**全力で応援**してくれます。

いろんなタイプの救急医が一丸となって協力し全体を見るというのが、当院の一番の魅力と感じています。

